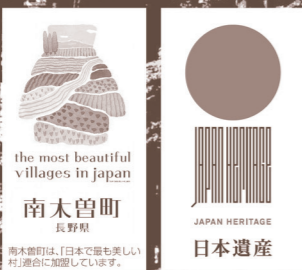


南木曾路

みなみきそじ

歴史の道マップ



南木曾町 長野県

日本遺産



- アクセスのご案内
- JR東海利用
 - JR中央本線 南木曾駅下車
 - 自動車利用
 - 名古屋方面から…中央道中津川ICより 国道19号経由 約30分
 - 松本方面から…中央道塩尻ICより 国道19号経由 約90分
 - 東京方面から…中央道飯田山本ICより 国道256号経由 約50分

お問合せ先

一般社団法人 南木曾町観光協会 (妻籠観光案内所)
 〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2196-1
 TEL 0264-57-2727 FAX 0264-57-4036
 TEL 0264-57-3123 (観光案内専用)
 (一社)南木曾町観光協会ホームページアドレス
<https://nagiso.jp/>
 妻籠観光協会ホームページアドレス
<https://tsumago.jp/>
 南木曾町ホームページアドレス
<http://www.town.nagiso.nagano.jp/>



中山道

国指定史跡

江戸期の主要道路であった中山道。その古き面影にひたることのできるのがここ南木曾から馬籠へとつながる街道筋です。その道程には見所が満載。昔ながらの町並が保存された妻籠宿と馬籠宿。風情ただよう石畳の山道や、吉川英治『宮本武蔵』の舞台にもなった男滝・女滝。馬籠峠は、安藤広重の『木曾街道六十九次』にも描かれた名所です。

南木曾路

南木曾駅より妻籠、大妻籠、馬籠峠へ…

歴史の道・中山道



馬籠宿

14 馬籠宿
 木曾路最南端の宿場。宿場街は、明治23年(1890)の大火により昔の面影はありませんが、文豪島崎藤村の生誕地として、また本陣跡に建てられた藤村記念館など藤村文学ファンに人気があります。

10 男滝・女滝
 吉川英治『宮本武蔵』の舞台となった滝。また、滝壺に金の鶏が舞い込んだという倉科様伝説が伝わっています。



女滝

男滝

13 馬籠峠
 標高790m。妻籠宿、三留野宿が展望できます。正岡子規の「白雲や 青葉若葉の三十里」の句碑。



2.0km (徒歩約60分)

1 かぶと観音
 木曾義仲が北陸路に出撃せんとするとき、かぶとの八幡座の観音を祀ったのが始まりと伝えられています。



2 上久保の一里塚
 江戸から七十八里目の塚。町内で原形をとどめているのはここだけ。しだれ梅の古木、三留野寄りにはしだれ桜とハナの木の大木があります。

3 読書発電所 (国重文)
 大正期を代表する水路式発電所。近代化産業遺産に指定されており、いまなお現役の発電所です。関西電力所有。



4 良寛歌碑
 江戸後期の歌人良寛がこのあたりを通ったときに詠んだ和歌が歌碑になっています。「この暮のもの悲しきにわかくさの妻呼びたてて 小牝鹿(さおしか)鳴くも」

5 妻籠城跡 (県史跡)
 戦国時代から、妻籠は木曾の南のおさえとして重要視されていました。城は、主郭・二の郭・空堀・帯曲輪をそなえた山城でした。主郭から妻籠宿の素晴らしい眺望を見ることが出来ます。



妻籠宿
 中山道四十二番目の宿場
 中山道六十九次のうち江戸から数えて四十二番目となる妻籠宿は、中山道と伊那街道が交差する交通の要衝として古くからにぎわいを見せていました。歴史の面影を色濃く残しながら、今も人々が暮らしを営む宿場町です。古き良きものをたいせつにする人々に癒しと感動を与える壮大な歴史空間を創り出しているのです。



妻籠宿本陣 脇本陣奥谷 高札場

6 石柱道標
 妻籠は、中山道と飯田街道の分岐点として栄えました。この碑は、明治14年(1881)に、飯田・近江・地元の商人によって建てられました。

7 藤原家住宅 (県史)
 大きな改造が加えられているものの、調査の結果、間取、構造、仕上りから17世紀半ばまでさかのぼる古い建築であることが判明しました。

8 倉科祖霊社
 天正14年(1586)松本城主小笠原貞慶の重臣倉科七郎左衛門朝軌と従者三十余人が、地元の土豪たちによって全滅させられました。その倉科の霊を祀ったものです。

9 大崖砂防堰堤
 明治13年(1880)、天皇御巡幸の際、工事を視察されたと言う県内最初の石積み砂防堰堤。

11 子安観音
 昔からこの付近に住む者に安産に恵まれると言われ、信仰の対象として子安観音が祀られています。現在も多くの方が安産祈願に訪れます。

12 一石栃白木改番所跡
 立ち茶屋 (無料休憩所)
 下り谷にあった白木改(木材・木工品などの出荷取締り)番所が、寛延2年(1749)に馬籠峠に近いここ一石栃に移され、明治2年(1869)まで、木曾五木(ひのき・さわら・あすなる・こうやまき・ねずこ)をはじめとする伐採禁止木の出荷統制を行ってきました。また、ここには立場茶屋(宿と宿の中間にある休息所)の遺構が現存しています。

桃介橋

国指定重要文化財



23 桃介橋 (国重文)
福沢桃介が、水力発電所開発のために架けた吊り橋。全長247mの木製、補剛トラスを持った吊り橋としては日本最大級。中央タワーには、河川に降りられる珍しい階段が設置されています。



24 十王堂
死後の世界をつかさどる十人の王が祀られているお堂で、このお堂では実際に十三人の王が祀られている。

歴史の道 与川道

木曾川沿いの中山道は水害でたびたび通行不能となり、その迂回路として三留野から野尻へと峠越えをする与川道(よがわみち)ができました。等覚寺の円空仏、阿弥陀堂の石仏群、白山神社の大杉(目通り8.2m、6.7mの二本の巨木)など歴史の名残をとどめた場所を結ぶ道が山里や山腹を縫って続きます。苔むした街道脇の石や落葉が周囲の静寂の中で道の盛衰を語りかけてくるような、絶好のハイキングコースです。

26 白山神社の大杉
大杉は二本あり、一本は目通り周囲8.2m、他の一本は、6.7mの巨木です。



27 松原御小休所
御小休所は、高貴な方が通行する際、休憩所として見晴らしのよい場所などに設けられました。

28 阿弥陀堂
境内には、庚申碑・巡礼参拝碑・名号碑などの石碑が多く、古いものは元禄5年(1692)のものもあります。

29 らんかん橋
江戸時代、ここには欄干を備えた立派な橋があったとされます。江戸に輿入れする皇女の道「姫街道(中山道)」たる所以でしょう。

30 石仏道標
宝暦11年(1761)の石仏に「右やまみち、左のぢり道」と刻まれています。

31 根の上峠
与川と野尻の境の峠。かつてはここにも御小休所が設けられていました。

南木曾路

南木曾駅より与川へ…、柿其溪谷へ…

— 歴史の道・自然遊歩道

至木曾福島・塩尻

信濃路 自然歩道

山、川、そして滝めぐり…。心洗われる南木曾路をゆったりとお楽しみください。



牛ヶ滝



25 古典庵 木曾八景与川の秋月
仲秋の名月は、ここから眺めると周囲の地形とあいまって大きくて見事です。古典庵は、中世に与川氏の菩提寺があり、その寺(庵)の呼び名だろうと言われています。良寛の歌碑「さむしろに衣がたしきぬばたまの さ夜ふけ方の月を見るかも」が建てられています。毎年月見の宴が開かれます。

32 八剣神社
旧号を劔大明神といい、江戸時代には二村にまたがる神社でした。境内の大杉は、木曾では珍しい熊野杉で樹齢580年余り。四本の杉が一株なって「よすぎ」ともいわれています。

33 柿其水路橋 (国重文)
読書発電所へ発電用の水を送る水路。谷を渡る壮大な構造物です。全長142mの現役水路。

34 柿其観音堂
江戸時代中期、飢饉のため餓死した旅人や村人の供養に建てられました。

35 きこりの家
江戸末期、文久4年(1864)に建てられた民家を解体復元。希望者は、昔の生活が体験できます。

36 柿其溪谷
約8kmに渡って滝あり瀬ありの変化に富んだ美しい溪谷です。自然歩道は、牛ヶ滝までの約500mが整備されています。



37 恋路のつり橋
柿其溪谷にかかる小さな吊り橋。橋を渡りながら、恋の願いを…。

38 恋路峠
柿其の美しい女性を慕って、他村の男衆が越えてきた…とのことからこの名がついたと言われています。

15 和合の枝垂梅
江戸時代、木曾谷有数の酒造家遠山氏の庭木として愛育されてきた古木。

16 園原先生碑
三留野東山神社神官の家に生まれた園原旧富は、有数の国学者で、尾張・美濃・信濃に門人を多数擁していました。

17 等覚寺の円空仏
円空仏は、町内に六体ありますが、等覚寺には韋駄天像など三体が保存され、公開もされています。春にはしだれ桜も有名です。

18 三留野宿本陣跡枝垂梅
本陣は、明治14年(1881)の大火で焼失しましたが、庭木の枝垂梅が残されています。

19 廿三夜塔
二十三日の遅い月の出を拝み、豊作などを祈る民族信仰で祀られたもの。

20 福沢桃介記念館/山の歴史館
電力王福沢桃介の別荘に遺品などを展示公開。大正8年(1919)の建築。川上貞奴と滞在していました。山の歴史館は、旧御料局名古屋市庁妻籠出張所の建物でした。民間に払い下げられ復元。長野県宝。山の資料を収蔵。

至中津川・名古屋

等覚寺



21 悲しめる乙女の像
昭和28年(1953)7月の伊勢小屋沢の蛇抜け(山津波)犠牲者を悼んでつくられました。周辺には当時流されてきた巨石が残っています。

22 天白公園
つつじの名所。4月中旬が見頃。400株以上の自生ミツバツツジで辺り一面が鮮やかなピンクに染まる頃、お祭りも開催されます。